

情報機器作業管理者に対する労働衛生教育 案内書

法令根拠 講習内容

- 近年、IT関連技術の進展に伴い、職場における情報機器の種類や活用状況は多様化し、情報機器作業に従事する労働者の労働環境が大きく変化しており、働き方や健康問題等が改めてクローズアップされています。このため、厚生労働省では、情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドラインを公表し、情報機器作業に従事する労働者や、情報機器作業従事者を直接管理監督する立場の作業管理者に対する教育を推進しています。(令和元年7月12日付け基発0712第3号)
- この講習は、上記通達を受けて定められた「情報機器作業に係る労働衛生教育実施要領」(令和元年10月11日付け基発1011第4号「情報機器作業に係る労働衛生教育の推進について」の別添)に基づいて、中央労働災害防止協会が認定する情報機器作業労働衛生教育インストラクター資格を持ち、労働衛生管理について十分な知識と経験を有する労働衛生コンサルタントが、情報機器作業管理者を対象に、わかりやすく解説いたします。

申込方法

受付開始: 原則、開催日の2ヶ月前(その日が土・日、祝祭日の場合はその翌日)
 申込締切: 開催日の2週間前(その日が土・日、祝祭日の場合はその前日)なお、定員に達した場合は締切日前でも締め切ります。
 手続方法: 窓口申込、郵送申込(現金書留、銀行振込)の方法があり、詳細はホームページを参照ください。

受講対象

情報機器作業従事者を管理・監督する立場になられる方
 現に情報機器作業従事者を管理・監督する立場に就いている方で当該教育を受けていない方

講習科目 講習時間

科目	内容	時間
1. 情報機器ガイドラインの概要	情報機器ガイドラインの概要(管理者の役割と心構え、労働衛生管理概論、労働災害統計、情報機器操作者に対する労働衛生教育の方法等)	2時間
2. 作業管理	作業計画・方法、作業姿勢、ストレッチ・体操など	2.5時間
3. 作業環境管理	情報機器の種類・特徴・注意点、作業環境(作業空間、ワークステーション、什器、採光・照明、空調など)が作業の効率や健康に及ぼす影響と、その改善及び維持	
4. 健康管理	情報機器作業の健康への影響(疲労、視覚への影響、筋骨格系への影響、メンタルヘルスなど) 健康診断とその結果に基づく事後措置、健康相談、職場体操等	2.5時間
合計 7時間 … この時間は休憩時間を含んでおりません。 実際の講習では休憩時間等を考慮して時間配分しています。		

受講料

区分	受講料(税込)	テキスト代(税込)	合計(税込)
一般	11,000円	880円	11,880円
会員	7,700円		8,580円

※キャンセルの場合の取扱いは、協会ホームページをご確認ください。

修了証

全科目を受講した方に対して、修了証を交付いたします。